

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和八年二月十日発行（毎月一回十日発行）

定価 五〇〇円

第1013号

龍

跳

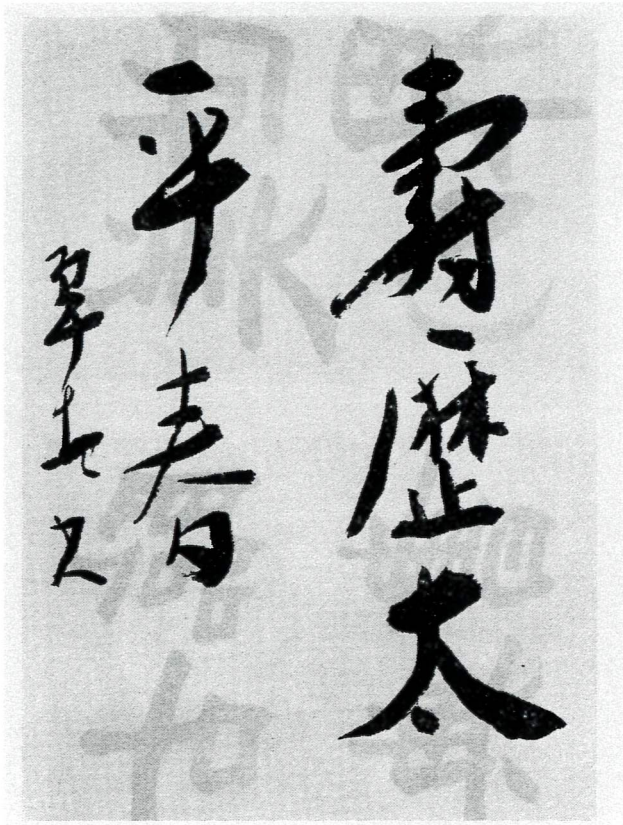
第八十二卷

3

月号

高知
龍跳書道会

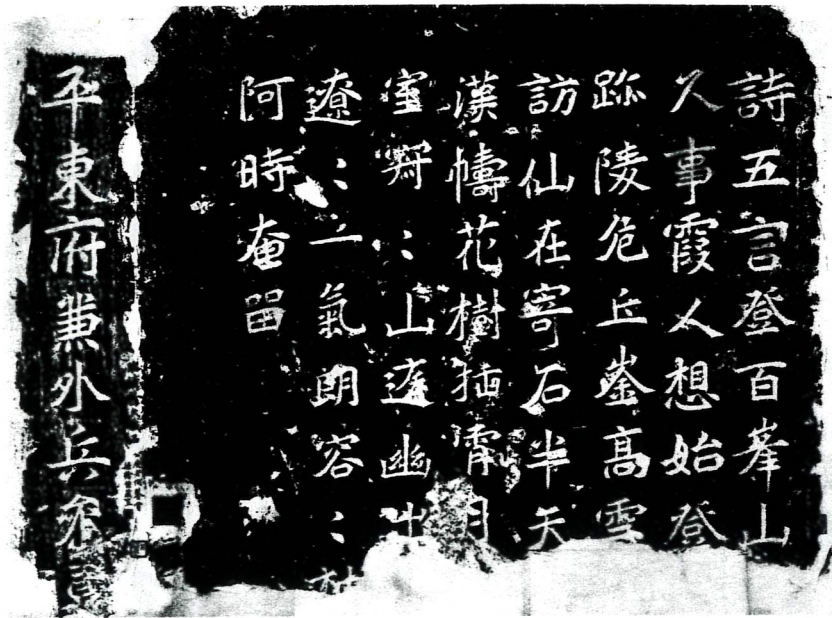
川崎翠村書



寿歴太平の春

登百峯山詩
とうひゃくほうざんし

鄭道昭
ていどうしやう



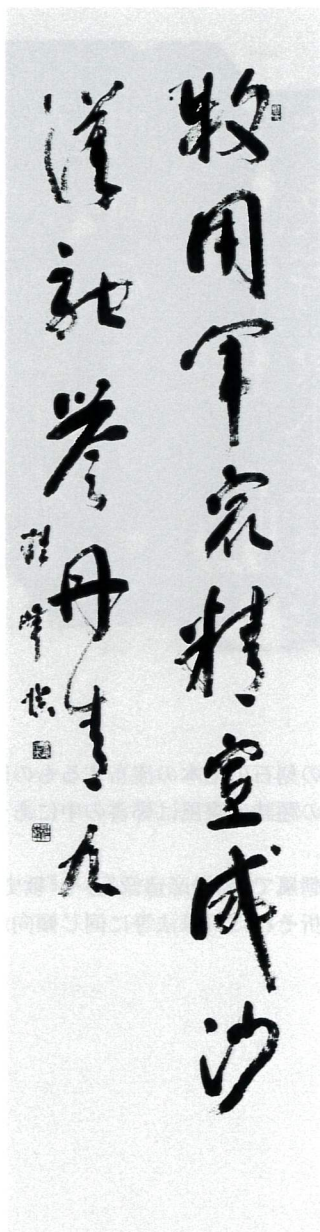
この刻石の拓本の流布するものは、現在は北京の故宮博物院に所蔵している。

この題詩の書風は鄭書の中にあつては、「鄭義下碑」や「論經書詩」とは大きく異なる。

六朝風で『高僧彦造像記』や『敬史君碑』や『劉碑造像』等に近い書風であり、点画や転折それに用筆法等に同じ傾向が見られ、非常に洗練された結構を示している。

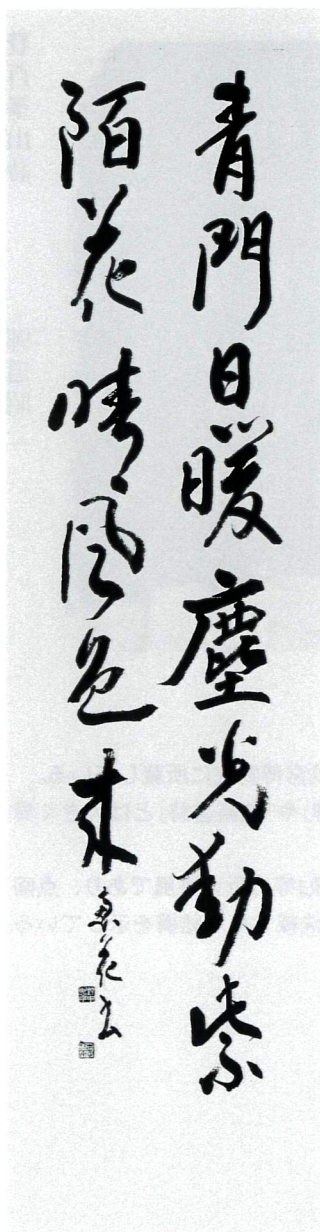
塚地桂峰臨

草書千字文



野中恵花書

青門日暖鹿光動紫陌花晴風色來



梅川桂龍書

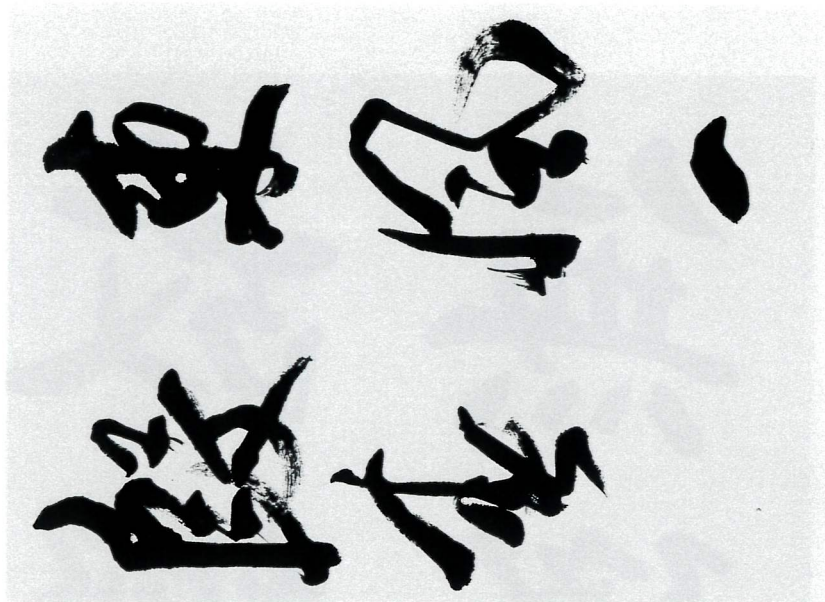
故郷香
無際

故郷香として際無し

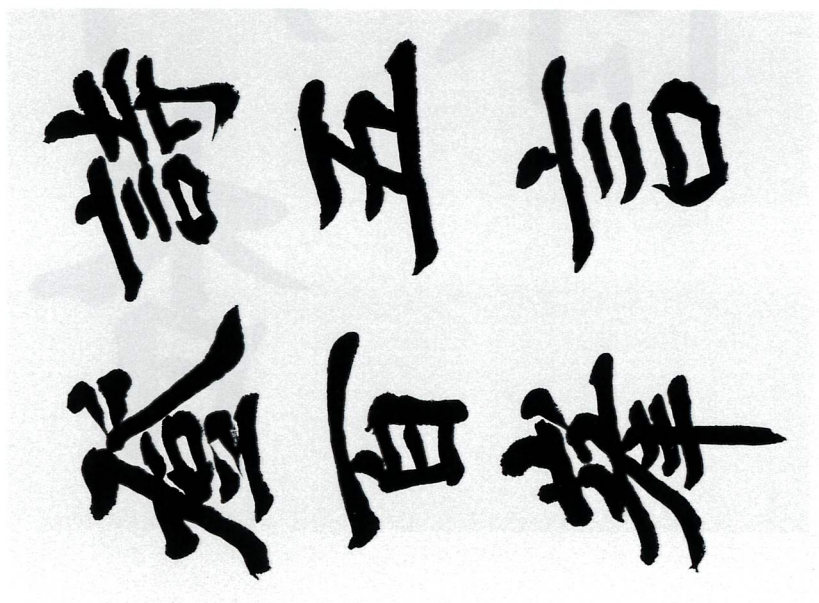
3月20日締切

福 原 曉 雲 書

東風一段の春



福 原 曉 雲 臨



竹内昌子先生書

高野素十句

野に出れば

人みなやさし

桃の花

素十昌子



野に出れば 人みなやさし 桃の花

江西澄翠書

月耀落日野橋晚
 鄰雁經雲江過州

西山極山臨

忽披枉書已銷陶尔
 御看兩果及左衛

中平美峰臨

右僕射定襄郡王郭
 寧下益太上有立德

岩河里華臨

西親授之子惡舍游夏
 之徒附之別人之有

勝氣東江漢之英
靈若宇深樹風

武政幽雅

善財親書吉滿薛書智興

空藏 春有長照書東滿十一

門田惠子

車色核之黠贈者惡足知且
丈夫生與宇宙知已從來可多

岩崎竹山

牧野君月光校是地新春
頭望山月低紅思古鄉

浜崎洋堂

少年當未姓可了之法一
然便得主皮今肉外

佐竹江月

魏故中書令秘書監
使持節督兗州

弘田賀峰

余不入以事為之家翰
弘右軍之策札

橫田紫秋

高祖略恢亮儒素味
道居真州府招

藤原朱鳳

但當保皮以任修功
得空主得采以絲

中城康華

余收張季開帽之秋
氣深不審氣力

吉永光翠

吉永光翠

中城康華

藤原朱鳳

橫田紫秋

弘田賀峰

条幅当選作品 前田秀華 選評

★天位

武政幽雅君⇧字形、筆使い丁寧に原帖をとらえている。

門田恵子君⇧力強く躍動感あふれる筆勢は見事。

岩崎竹山君⇧飾り気なく素朴で落ち着いた作。

浜崎洋堂君⇧楽しめる作品ですが、少し早書きに見えます。

佐竹江月君⇧ゆったりとした、自然な呼吸。

★地位

弘田賀峰君⇧力みもなく落ち着いています。

横田紫秋君⇧伸びやかな運筆で明るく練達の作。

藤原朱鳳君⇧字形、筆使い丁寧な臨。

★人位

中城康華君⇧紙面が明るくてよい。頑張ってください。

吉永光翠君⇧自然な運筆で好感が持てる臨書です。

作品は毎月20日必着
(必ず守ってください)

▷ 次回審査会 ◁

2月の審査は22日（日曜）午前9時30分に開始
します。審査会場は終了後**高知城ホール**です。
審査会終了後（12時～）条幅勉強会を行います。
課題は1ページ古典の臨書です。筆をご持参下さい。
多くの方の参加を望みます。

抱寸太志

3月20日締切

寫真念記

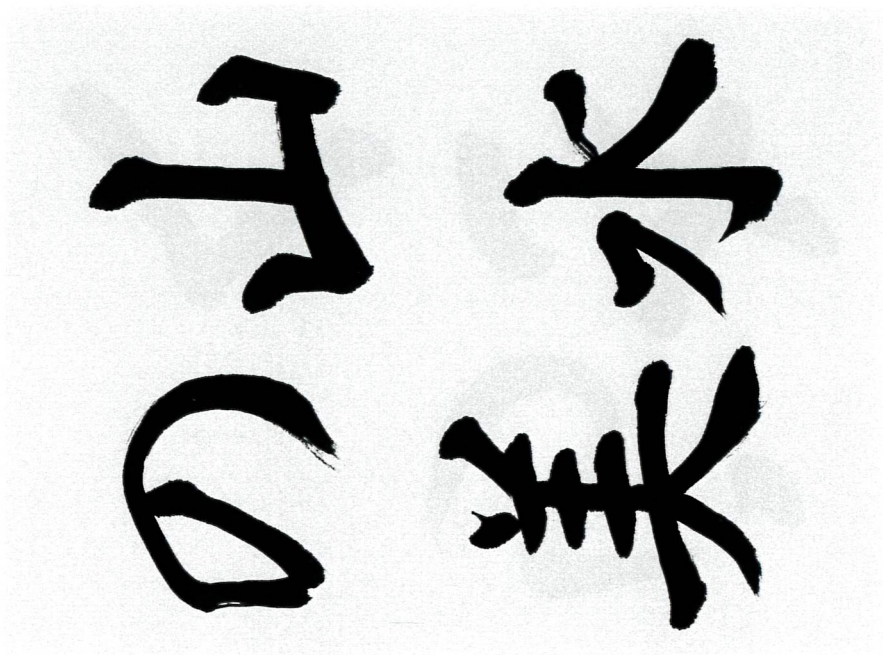
3月20日締切

学力
試験

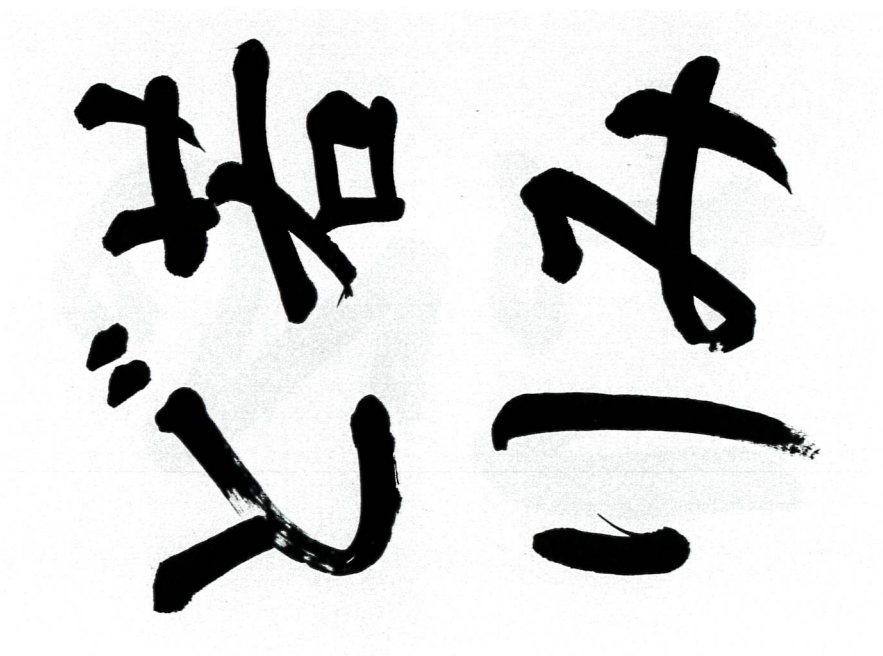
3月20日締切

工場
見学

3月20日締切



3月20日締切



3月20日締切

たろ

3月20日締切

はる

3月20日締切

学校名	六年	級段	氏名
プラスチックごみは、きちんと回収すれば、それを原料として新しいプラスチックの製品に作りかえることができます。これをプラスチックのリサイクルといいます。			

3月20日締切

学校名	五年	級段	氏名
寝る時間になったので、ぼくは明かりを消した。エルダッドが起きて、明かりをつけた。ぼくは、起き上がって明かりを消し、スイッチのそばから動かなかった。			

3月20日締切

[illegible]

3月20日締切

ウイルソンは、はたら		き)ありの体の仕組みを、		研究してみました。あり		は、おしりのところから		とくべつのえきを出すこ		とが分かりました。	
学 校 名		三 年	級	氏 名							

3月20日締切

がっこう	二 ねん	だ ん ち う な ま え	中国の北の方、モ ンゴルには、広い草 原が広がって、ひつ じや牛や馬などをか つて、くらしていた。
------	---------	---------------------------------	---

3月20日締切

あ	き	に	は	び
し	り	た	ね	が
の	い	ま	し	た
る	い	た	ね	で
かっこう		一	ねん	だ
				ゆう
				ん
				な
				ま
				え

3月20日締切

がっこう	はな	きだ ゆらん	なまえ	そ	つ	え	ん				
				お	め	で	と	う			
				お	に	い	さ	ん			
				お	ね	え	さ	ん			

3月20日締切



令和8・9年度 硬筆手本担当者

担当学年	担当者
小学六年	江西澄翠
小学五年	森本寿山
小学四年	石川美水
小学三年	野中恵花
小学二年	小川理香
小学一年	藤田桂園
ようち・ほいく	中平美峰

※手本作品は事前に必ず
会長まで提出してください。

ご寄付のお礼

畫心会 様（須崎）

須崎書道クラブ様（〃）

ご芳志誠にありがとうございます。
当会の運営ならびに龍跳誌発行に
活用させていただきます。

龍跳書道会

自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君
自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君
自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君
自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君	自覺坐 来久 美佐君

(一・二段目) 福原曉雲 選評
賀峰君 確かな落ち着いた線で佳。
やや「峰」が大きいので小さく。

里華君 規矩整然として氣力充実作。
恵花君 練度高く、格調有り。「學」の最後のハネ気になります。

清園君 伸々とした強い線で骨格有。
落款までまじめに決めている。

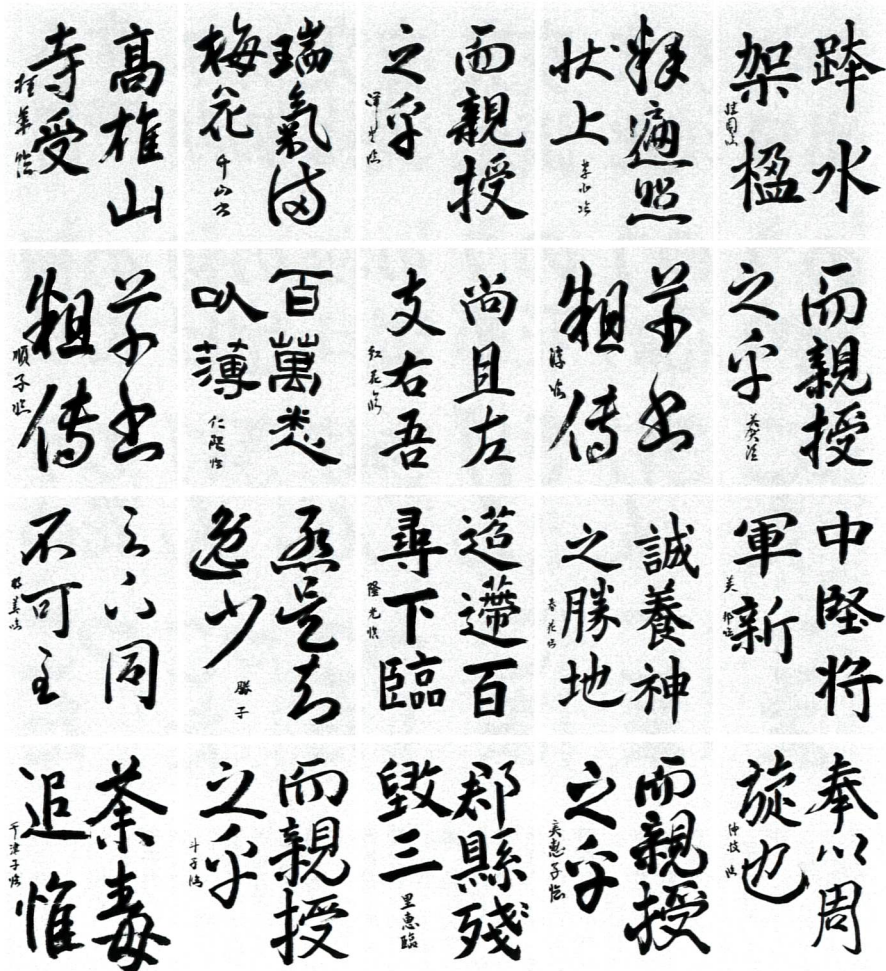
美賀君 一点一画、几帳面、まじめ作。
美佐君 此の方も右に同じ、新鮮作品。
(二・三段目) 廣末幽念 選評
淳 君 線強く筆力あり。

紫秋君 堅実な書きぶり。
幸子君 楽に書かれ安定した作。
輝代君 のびやかな筆致で良い。

順子君 氣力充実、明るい。
(三・四段目) 大原桂園 選評
律子君 味わい深い作品。
美草君 伸びやかで明るい。
春花君 よく整っている。もう少し大きめに。

雅月君 伸びやかでよくまとまっている。
伸枝君 よく整っている。
利恵君 趣きのある作。

(四段目) 大原桂園 選評
衣里子君 伸びやかでよく整っている。
杏実君 堂々とした作。
綾 君 落ちついて、ていねいに書けている。



(一・二段目)

梅川桂龍

選評

桂園君 原帖を忠実に臨して圧巻の作。

孝北君 勢いのある線で良くまとめている。

洋堂君 軽快で気力充実の作。

竹山君 重厚な線で安定感あり。

桂華君 空海を臨し暖かみのある線で佳。

美賀君 流れ良く安定した作。

(二・三段目) 西山極山 選評

淳君 線自由に流れ安定感あり。

紅花君 いていねいな書きぶり、好感がもてる。

仁陽君 魅力的な線で余白が生きている。

順子君 堅実な書きぶりで安定している。

美邦君 力みなく落ちついた作品。

(三・四段目) 武内美仁 選評

春花君 形も筆法、良く出来ている。

隆光君 バランス良く丁寧な作。

勝子君 一紙を圧する作。見ごたえあり。

昭美君 澄みきった線で美しい。

伸枝君 吊った線できびしさが良く出ている。

美恵子君 墨量多く豊かな臨。

(四段目) 武内美仁 選評

里恵君 重厚でゆるぎない、快心の作。

斗子君 動き大きく、伸びやかな作。

千津子君 気力充実の作。

長岡小 五年 大森 の初出	文化 交流 のうめ	文化 交流 のうめ	文化 交流 の初出	冬期 休暇 の初出	幸福 の初出
あまう 二ん 三つ つた	きげん こま	きげん こま	きげん つた	きげん つた	のうめ つた
あまう 二ん 三つ つた	きげん こま	きげん こま	きげん つた	きげん つた	のうめ つた

(一段目) 中学部 岡林邦心 選評

杏実君 力強い線が良い。名前も良い。さくら君 素直で大らかな作品です。

河村容舟 選評

(一段目) 小学六年 リサ君 のびやかな線でよくまとめている。璃音君 いていねいにまとめている。彩笑君 よく書いています。続けてね。

河村容舟 選評

(二段目) 小学五年 実咲君 力強くしつかり書いています。美緒音君 いていねいに書いています。聖佳君 のびのびと書いています。明利君 しつかり書いています。

深瀬緑堂 選評

(二・三段目) 小学四年 雪花君 明るくよくまとめている。紗雪君 のびのびとして力強い。心遥君 力強く堂々としている。

濡君 大変よくまとめている。がんばって書いて下さい。

深瀬緑堂 選評

(三段目) 小学三年 凉君 明るくて線も強い。依吹君 強い線でしつかり書いています。みのり君 元氣いっぱい。沢山書いて下さい。

羽唯君 のびやかで気持ちいい。沢山書いて下さい。

奥堂皓月 選評

(三・四段目) 小学二年 望未君 大きく力強く書きました。由菜君 どうと書きました。恵那君 のびのびと書きました。

かお君 力強くしつかり書いています

奥堂皓月 選評

(四段目) 小学一年 ゆいと君 おちついてしつかり書きました。こな君 のびのびと書きました。

奥堂皓月 選評

(四段目) ようちほいく そうた君 元氣に書きました。がんばってね。

多ノ郷 大城 リサ
岡豊 中司こころ

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
多ノ郷六・特待生・大城 リサ

私たちは、生活の中で、場面に応じて言葉を選んで使い分けています。話す内容が同じであつても、目上の人に対して話すようなときは、それに応じた言葉を使います。
岡豊六・七・中司こころ

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに偉大な功績である。
長岡金五郎・森田 実咲

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに偉大な功績である。
野市小五・九・小笠原結那

長岡 森田 実咲
野市 小笠原結那

吾桑 松坂美緒音
須崎 田村 紗雪

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに偉大な功績である。
吾桑 五・七・松坂美緒音

試合終了直後のシーンをみてみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
須崎四・七・田村 紗雪

試合終了直後のシーンをみてみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
岡豊小 四・五・島村 心遥

試合終了直後のシーンをみてみましょう。勝ったチームのおうえん席では、選手とおうえんした人たちが一体となつて勝利を喜び合っています。
越知 四・五・藤時華乃

岡豊 島村 心遥
越知 藤崎 華乃

すさき 金堂 涼
浦ノ内 徳永 隼斗

ふとんからはね起きろと、三年とうげに行き、わざとひっくり返り、転びました。ぬるめの木のかげから、おもしろい歌が聞こえてきました。
すさき三・六・金堂 涼

ふとんからはね起きろと、三年とうげに行き、わざとひっくり返り、転びました。ぬるめの木のかげから、おもしろい歌が聞こえてきました。
浦ノ内三・四・徳永 隼斗

ふとんからはね起きろと、三年とうげに行き、わざとひっくり返り、転びました。ぬるめの木のかげから、おもしろい歌が聞こえてきました。
池川小 三・四・北村 心暖

アイロンって船みたい。けむりを出して、おかあさんの水色のスカートをゆくりすすむ。
あそう二・五・うめばらゆま

池川 北村 心暖
あそう うめばらゆま

あそう まつさかのぞみ
多ノ郷ごう 坂本 美咲

アイロンって船みたい。けむりを出して、おかあさんの水色のスカートをゆくりすすむ。
あそう二・五・まつさかのぞみ

アイロンって船みたい。けむりを出して、おかあさんの水色のスカートをゆくりすすむ。
多ノ郷二・五・坂本 美咲

小さなさかなのきょうだいたちが、たのしくくらしていた。
しんじょう一・三・なかにまゆいと

小さなさかなのきょうだいたちが、たのしくくらしていた。
うらノ内一・二・なかにまゆいと

しんじょう なかにまゆいと
うらノ内 とく永あやと

第974回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 前田 秀華

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※西山極山
※中平美峰
※岩河里華

★天位

※武政幽雅
※門田恵子
※岩崎竹山
※岩崎洋堂
※佐竹江月
池 芳春
大原桂園
岡林邦心
深瀬緑堂
伊吹悠道
河村容舟
大井 淳
中平幸仙
大平圭子

★地位

小笠原廣峰
※弘田賀峰
※廣田紫秋
※藤原朱鳳
別役美佐
山本恵歩
水田紅子
松本世津
高橋桜芳
高橋美草
田村和子
大石千施
※中城康華
※吉永光翠
坂本碧香
濱田幸子
岡林翠
川崎志津
岩谷紅花
山崎隆志
田村眉州
丸田宏子
氏原美泉

★人位

規定

審査 福原 曉雲

★師範

東洋 高知 弘田賀峰
須南 野中恵花
安芸 中平幸仙
須川 濱崎洋堂
南 池川千寿
佐川 戸田孝北
須崎 江西澄翠
越知 大原桂園
山田 岡林邦心
山田 西山極山
山田 水田紅子
高知 河村容舟
久知 奥堂皓月
須崎 深瀬緑堂
野市 小笠原廣峰
久礼 中平美峰
吾桑 堅田清園
いの 別役美佐
旭筆 桑原智子
窪川 今井真理
旭筆 山川百景
旭筆 天野喜泉
旭筆 橋本祝子
鷹ノ巣 松本世津

★準師範

安芸 岩崎竹山
須崎 山本恵歩
須南 山本恵歩
上 佐竹江月
吾桑 松浦明子
久礼 田中恵風
佐川 小野山美喜
須南 氏原美泉
高知 北村圭旭
高知 浪上理奈
久礼 西村芳香
大野見 平井桂草
旭筆 横山桂翠
越知 林口花道
窪川 井口花道
高知 丸田宏子
吾桑 高橋桜芳
山田 大石千施
山田 池 芳春
越知 藤原朱鳳
仁淀川 西内仁子
山田 吉田深美
山田 門田恵子
山田 田村和子
久礼 坂本碧香
久礼 山西春草
大野見 高橋朱鳥
審査 廣末 幽念

★六段

東洋 岩谷紅花
大野見 下元玉泉
★五段
窪川 横田紫秋
旭筆 濱田幸子
旭筆 鈴木輝代
窪川 中城康華
窪川 西村由香
山田 西崎隆志
山田 山崎英子
窪川 武政幽雅
越知 岡本美水
香北 吉永光翠
窪川 岡本美水
仁淀川 藤原勝子
馬路 久保可奈
仁淀川 掛水勝恵
久礼 濱田美恵子
仁淀川 鶴井未来
仁淀川 中内泰子
須崎 須崎 渡辺加寿
須崎 横山星舞
大野見 杉本美邦
香北 高橋翠園
須崎 須崎 渡辺加寿
★三段
仁淀川 品原律子
窪川 高橋美草
馬路 金子知加

★二段

多ノ郷 市川春花
須崎 松坂雅月
馬路 川内みさ
仁淀川 後藤和美
仁淀川 林 隆光
南国

★初段

東洋 前田伸枝
東洋 松島利恵
高知 川崎志津
仁淀川 西尾明美
東洋 山本房
仁淀川 藤田秋華
仁淀川 城尾 彩
馬路 久保可奈
仁淀川 掛水勝恵
久礼 濱田美恵子
仁淀川 鶴井未来
仁淀川 中内泰子
★一級
仁淀川 藤原衣里子
仁淀川 片岡桂子
東洋 富山里恵
東洋 小松悦枝
仁淀川 吉永美佐
仁淀川 西内俊二
南国 片岡晃美
高知 山岡斗子
南国 田内史恵

★二級

仁淀川 藤原杏実
★三級
旭筆 〇川崎 綾
越知 〇眞辺千津子

随意

審査 梅川 桂龍

★師範

大原桂園
戸田孝北
濱崎洋堂
野中恵花
江西澄翠
小笠原廣峰
弘田賀峰
岩河里華
中平美峰
河村容舟
深瀬緑堂
奥堂皓月
中平幸仙
西山極山
水田紅子
★準師範
岩崎竹山
横山桂華

– 23 –

毛筆四年

審査 深瀬 緑堂

★八段

須崎 毛利香花

★七段

須崎 田村紗雪

浦ノ内 正木芳尚

★五段

岡豊 島村心遙

長岡 竹内伽菜心

★四段

多ノ郷 森光梨衣奈

長岡 宮脇治太

★三段

越知 藤崎華乃

★二段

吾桑 長山優奈

長岡 澤村郁菜

★初段

野市 小笠原瑠那

★三級

越知 ○宮脇未羽

★七級

長岡 ○湯川 滯

毛筆三年

審査 深瀬 緑堂

★五段

須崎 金堂 涼

★四段

吾桑 高橋依吹

多ノ郷 橋田かほ

新莊 中島彩斗

★三段

岡豊 中司みのり

岡豊 島村昇冴

★二段

馬路 小松時生

★二級

長岡 ○大塚もも

★三級

別府 ○吉永羽唯

★四級

池川 ○藤原汐零

★五級

多ノ郷 ○濱田理仁

★八級

越知 ○小田緒十

もうひつ二年

審査 奥堂 皓月

★四段

吾桑 松坂望未

★二段

吾桑 梅原由菜

野市 小笠原恵那

★初段

岡豊 荻 かお

★一級

岡豊 三谷斗維

★二級

別府 片岡しゅうへい

★三級

べふ ふじはらみずき

★七級

奈路 ○坂本翔成

もうひつ一年

審査 奥堂 皓月

★三段

新莊 中じまゆいと

★二段

須崎 金どうこな

別府 後藤和葉

★初段

池川 つるいはると

★二級

池川 ○藤原成琉

もうひつ

ようちほいく

審査 奥堂 皓月

★九級

上分 ○よしむらそうた

第707回硬筆成績

○印は昇級

硬筆六年

審査 野中 恵花

★特待生

多ノ郷 大城リサ

須崎 松田菜乃

上分 梅原百叶

上分 小松希美

多ノ郷 松浦結菜

★九段

長岡北村さくら子

浦ノ内 美島希以花

上分 田邊璃音

長岡 宮脇改太

久礼 森岡 虹

長岡 窪田 菜優

須崎 竹内陽南子

浦ノ内 谷口 桜心

松山 翔

★七段

岡豊 中司こころ

上ノ加江 政岡桃加

吾桑 梅原蒼菜

須崎 田村拓海

★六段

岡豊 島村倅空

上分 柳本稀衣

浦ノ内 久保田健介

潮見 須賀勇介

上ノ加江 岩田愛菜

★五段

別府 後藤 樹

★四段

浦ノ内 中田瑚音

★三段

吾桑 高橋芽生奈

藤沢 駒崎信慈

(出品票)

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

のり代		臨は出典名	氏	名	段	級	のり代		地名	氏	名
8年	3月						8年	3月			
随	意						詩	文			
★二段 吾桑 堅田有咲 ★新規 二級編入 鎌倉彩笑 別府 審査 野中 恵花 硬筆五年 こうつ ★特待生 長岡 森田実咲 ★九段 野市 小笠原結那 ★八段 小高坂 川西康介 ★七段 吾桑 松坂美緒音 須崎 高橋蒼来 佐古 津野聖佳 須崎 田村健悟 久礼 金堂莉李 薦田コモモ ★六段 浦ノ内 中平澤里 久礼 黒原小夏 ★五段 吾桑 宮崎穂花 久礼 笹岡玲斗 ★四段 長岡 西内明利 吾桑 笹岡蒼馬 上分 橋田 陸 ★三段 池川 片岡亜李紗 池川 北村日和 越知 大原穂乃花 ★二段 久礼 堀田瑛太 上分 中山結愛 ★一級 上分 赤崎南美 ★二級 別府 ○片岡龍威 硬筆四年 こうつ 審査 江西 澄翠 ★八段 浦ノ内 正木芳尚 ★七段 須崎 田村紗雪 須崎 毛利香花 ★六段 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩心 ★五段 岡豊 島村心遥 越知 藤崎華乃 長岡 竹内加菜心 多ノ郷 森光梨衣奈 多ノ郷 太田朋希 長岡 宮脇治太 上分 梅原未来 ★四段 野市 小笠原瑠那 上ノ加江 山陽莉 上ノ加江 吉原綾人 久礼 日林ゆあ 吾桑 長山優奈 ★三段 久礼 黒原小春 池川 藤崎菜央 長岡 猪野光騎 ★二段 長岡 澤村郁菜 浦ノ内 森田海音 ★四級 越知 宮脇未羽 ★五級 長岡 ○湯川 滯 ★六級 上ノ加江 ○山口蒼生 久礼 細木龍生 硬筆三年 こうつ 審査 森本 寿山 ★六段 須崎 金堂 涼 ★五段 上分 吉村はるか 吾桑 高橋依吹 多ノ郷 橋田かほ ★四段 浦ノ内 徳永隼斗 新莊 中島彩斗 久礼 黒原李香 上分 橋田一か ★三段 池川 北村心暖 岡豊 中司みのり 長岡 安井 颯 池川 上村心晴 池川 伊藤日向 久礼 下谷琴春 久礼 片岡紗雪 久礼 政岡有美 ★初段 城東 丸山颯土 大谷北 倉持百花 上ノ加江 加茂海弥美 久礼 久礼 ★初段 久礼 鈴木奈穂 奈路 植野 葵 久礼 岩瀬 渉 岡豊 島村昇史 長岡 金堂孝亮 上ノ加江 政岡倉史 久礼 久礼											

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 山本 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

吾桑 宮崎陽香 吾桑 堅田彩乃	★一級	越知 宮脇芽生 長岡 大塚文雲	★三級	別府 ○吉永羽唯	★四級	池川 ○藤原汐雪 馬路 ○木下魁人	★六級	久礼 ○佐竹真到	★七級	多ノ郷○濱田理仁	★九級	越知 ○小田緒十		
こうひつ二年	審査 石川 美水	★五段	吾桑 梅原由茉 吾桑 松坂望未	★四段	多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内吉岡まひろ	★三段	附属 江頭 航 浦ノ内 中平湧大	★二段	久礼 森岡 紅 浦ノ内寺内かのん	★初段	野市 小笠原恵那 佐川 井上めい 岡豊 荻かお 高岡すみだしゅう 久礼 奈路佳苗	★一級	別府 片岡しゅうへい	
上分 橋田果歩 岡豊 三谷斗維	★五級	奈路 ○坂本翔成 べふ ○ふじはらみずき	★六級	久礼 ○細木翔生	★八級	久礼 ○松山愛実	こうひつ一年	審査 中平 美峰	★三段	しんじょう 中じまゆいと	★二段	須崎 金どうこな	★初段	別府 後藤和葉
★二級	浦ノ内 ○とくながあやと	★三級	久礼 ○小林じゅんな	★四級	浦ノ内 ○山さきひな 池川 ○大西悠心 久礼 ○日林にこ	★五級	久礼○毛利いろは 吾桑 ○鈴木 杏	★六級	久礼○下谷なのか 池川 ○藤原成琉	★八級	久礼○中野せいら	★新規	十級編入 枝川 岡林はる	
こうひつ ようち・ほいく	審査 中平 美峰	★五級	おひさま ○もりみつるな	★八級	上分保 ○よしむらそうた	★九級	たちばな ○坂本ゆうま							

宝四房文中国
用品道書産
筆銘号田保久

有限
会社

堂 筆 齋

〒780-0818 高知市宝永町3-3
T E L (088) 8 8 2 - 1 4 5 4
F A X (088) 8 8 4 - 7 4 1 3

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。
 ※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

(出品票)

のり代	校 名	学 年	氏 名	段 級
8年 3月 筆	保	年		

のり代	校 名	氏 名	段 級
8年 3月 硬			

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎 一三三一

隅田亘心

龍跳書道会

兼崎口隆雄

01690-3-31925

電話 (〇八八九) 三五〇九七一 番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (〇八八) 八六五―八八五七 番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原 暁 雲

電話 (〇八八七) 二九―二六五〇 番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六―八

江西 澄 翠

電話 (〇八八九) 四二―三〇六七 番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中 恵 花

電話 (〇八八九) 四七―〇七二一 番

あとがき

長年にわたり本会にご尽力下さいました、森本瓊象先生が昨年の九月二十六日にお亡くなりになりました。

最後に瓊象先生のお声を聞いたのは瓊象書道教室作品集を頂いた事へのお礼電話をした際に、大変お元気な、いつものやさしいお言葉を頂きました。

私事ですが、習字を習い始めたきっかけは、自分の名前を筆でサラサラと書けたらいいなあと、軽い気持ちで五十才過ぎに一念発起して始めました。

龍跳誌に初めて提出の随意半紙作品が運良く、写真版に掲載され、その時の審査員が森本瓊象先生でした。批評内容は『新人ばなれした、素晴らしい作』この一言がきっかけで単純な私は、習字にすっかり夢中に……。

数年後、審査会に参加する様になり、瓊象先生にこの話をお伝えしたところ、いつものやさしい笑顔ですごく喜んでおられました。

その後、毎月開かれる審査会でも、いつものやさしい笑顔で声をかけて頂き、本当に感謝しています。

瓊象先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

月例競書課題

部 別	締切日	
	三月二十日	四月二十日
一般条幅	任意	任意
半紙規定	故郷杳無際	日暮且孤征
半紙随意	任意	任意
中学三年	大志を抱け	春山の彼方
二年		
一年	記念写真	不言実行
小学六年	学力試験	常緑の木
五年	工場見学	池の回り
四年	山水の美	入学式
三年	若みどり	社会
二年	さくら	はる
一年	はる	たけ
保 育		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 ：半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料 (R6.10～)
(幸便搬送の方は〒料不要)

①	1 冊	180円
②	2 冊～7 冊	210円
③	8 冊～20冊	430円

21 冊以上は次の計算による。

21冊 ①+ ②= 610円×月数
 22冊～27冊 ①+ ③= 640円×月数
 28冊～40冊 ③× 2 = 860円×月数
 50冊の場合 ③× 3 = 1,290円×月数

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ
 ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
 ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会
 (お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
 誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室 福原 暁雲

野島 桂山

江西 澄翠

中平 美峰

発行人 福原 暁雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

発行所 龍跳書道会

電話 (〇八七) 二九一二六五〇

印刷所 (有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八七) 四二一〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (088) 865-8857